

# B担務訓練、まだ全員終わっていませんよ！！

## 「所としての実績づくり」優先か?! 様々な問題を積み残したまま 「第2回B担務訓練結果発表」が貼り出される!!

2月8日の終了点呼で「第2回B担務訓練の統計を掲示しているのでB担当者はそれを参考に自分の作業を振り返ること」という主旨のことが言われました。

しかし、まず平成24年10月19日の「第2回B担務訓練実施について」という掲示には対象者は「大阪交番検査車両所のB担務担当者」と明記してあります。掲示には「重み」があるのです。しかし、まだ全員のB担当者が訓練を終えていません。しかも今回の訓練の「ディスカッション」で台車の検査手順など改善した方が良いと多くの社員から声が上がった事柄はそのままです。そればかりか何名かの「手順が間違ったり抜けていたと思われる社員」に対して「再訓練」の打診も行われています。

まず、B担務全員に訓練を受講させるべきです。そして「統計」の「ここが出来ていない」という項目だけでなく「改善を検討している検査手順」なども載せるべきです。単に「我が車両所では運転事故防止のためにこの様な訓練も実施しています」という実績づくりがしたいだけなのではないでしょうか。

今回の「訓練」をはじめ数々の「事故防止のための諸施策」をひねり出す人は私たちと一緒に10年・20年現場で働く人ではありません。一昨年7月から「台車相互チェック時の声出し」を実施していますが、事故防止にどれだけ効果があるかはさしあたり横に置いて、左右動ダンパーやセミアクダンパーに赤チョークを入れながら私たちはあと何万回「左右動ヨシ」とホコリっぽい台車の下で口を開けなければいけないのでしょうか。健康にいいわけがありません。次々と打ち出される「会社施策」は少しは社員のことを考えているのでしょうか?!

社員の皆さんどう考えますか。